

芝山町教育大綱

少子高齢・人口減少社会への対応や持続可能な社会の実現等、これからの将来への課題を克服していくため、教育の果たす役割は非常に重要なものとなっています。

芝山町は、これまでも教育施策の向上と充実に努めており、芝山町教育委員会及び町内の小中学校が連携して様々な教育課題の解決に取り組んでおります。

平成27年4月、町内の3小学校が統合し、「新芝山小学校」が開校しました。統合後においても、学校は、地域の中核的施設であるとともに、地域の一員であるという意識を持ちながら、更なる子どもたちへの教育の充実と強化を進める必要があります、引き続き町民の立場に立ち関係機関等の連携を積極的に進めなければなりません。

そのため、町行政の責任者である町長として芝山町教育委員会と協力・連携しながら町の将来像である「活力ある 緑の大地と空がふれあうまち・芝山」をめざし、人材を育てるまちづくりの推進を図るため、芝山町教育大綱を策定するものであります。

平成27年9月

芝山町長 相川 勝重

1. 子どもたちの教育環境の向上

- ・子どもたちが自ら学び、健康でたくましい心身と豊かな人間性を身につけられるよう、バランスのとれた教育を推進し、生きる力を育てます。
- ・子どもたちが安心して学校生活を過ごしていくための施設や環境の整備を計画的に推進します。

2. 生涯を通じた学習活動の推進

- ・世代を超えた様々な人との交流を通じ、芝山町の自然にふれあいながら多くの町民が参加できる学習の場の確立と、その成果が地域に活かされる生涯学習活動を推進します。

3. 文化・スポーツ活動の推進

- ・身近な場所で、優れた文化・芸術にふれる機会を充実させ、芝山町の歴史と文化を学び慈しむことで郷土を愛する心と誇りを高めます。
- ・スポーツ・レクリエーション活動を通じて健康で明るく活力あるまちをめざします。

4. 共生社会の推進

- ・仕事と子育てなどの調和が図られる家庭生活への支援を推進します。
- ・成田空港に一番近い町として、国内、国際交流を通じ地域の活性化を推進します。
- ・障害のある人もない人も、すべての人が積極的に社会参加・社会貢献できるやさしいまちづくりをめざします。